

障害児学校部総会

6月15日、約60人の参加で、高校会館において行われました。

全国情勢をふまえ、岩手でとりくむべき内容を確認しました。また、会の後半では全分会の近況を知ることができ、情報を共有することができました。課題となった主な内容は次のとおりです。

- ・慢性的な教室不足。校舎の老朽化及び、車椅子に対応していない施設設備。
- ・施設・設備を共有している学校、分教室では制限が多く、自由に使えない。

- ・慢性的な職員不足に加え、障害の多様化により、十分な支援ができない。

- ・病休になる職員が多く、その補充も決まらない。

- ・特割について十分に周知されていない。

今後も課題解消をめざしてとりくみをすすめていきます。



実習教諭部総会

6月21日、2019年度実習教諭部の総会を高校会館において41人の参加で開催しました。総会には来賓として岩手県議会議員の千葉進さんと小西和子さんよりあいさつを頂きました。



実習教諭部は少数職種であるが故、抱える問題や

課題も多く、代議員は真剣に討議に参加して問題を共有し、改善に向けたとりくみを確認しました。単位認定講習の開催は喫緊の課題ですが、最近では講師発令されている実教の免許更新講習の費用負担問題、採用試験のあり方や新採用者の配置についての課題、2級格付け要件の見直しなど、山積される課題や問題点を確認しながら議事がすすみました。

最後に実習教諭部の山積する問題がひとつでも多く解決できるよう、団結がんばろうで会を締めました。

女性部総会

6月21日、高校会館で78人の参加で開催しました。校務多忙の折でしたが、多くの代議員の参加がありました。開会行事では、来賓の岩教組の八重樫中央執行副委員長と、日政連議員の小西県議、千葉県議から連帯の挨拶を頂き、引き続いて審議に移り、執行部提案のとおり承認されました。

女性部運動の大きな柱である、平和と人権尊重について改めて確認し運動の前進を誓いました。性別で分けない名簿の使用率は県立学校で81.3%となりました。県議会では、佐藤教育長から2022年までに県内すべての学校で使用率100%の達成をめざすという話もありました。100%達成までとりくみをすすめましょう。

また、来年度盛岡中央支部と北支部の統合による常任専門委員のローテーションについて、現行のとおり

としたいという執行部原案が承認されました。来年度以降も旧盛岡中央支部、旧盛岡北支部のくくりで常任選出を続けていきますので、ご協力をよろしくお願いします。

午後からは、男女平等推進委員会との共催で「不思議なクニの憲法2018」を鑑賞し、平和について学習を深めました。

